

見学申し込みの流れ

1 見学申し込みは、まずは電話で。

日時と人数を確認いたします。

(児童生徒数が多い場合は、グループに分ける場合があります。)

申し込み締め切りは各館により異なりますので、詳細は事前にお問い合わせください。

2 各館担当者との打ち合わせ。

展示解説・全体講座・自由見学など、見学内容の詳細について、確認を行います。各館の見学メニューについては裏面をご覧ください。

3 「入館申込書」・「入館料減免申請書(※1)」の提出をお願いします。

様式は「盛岡市文化振興事業団」のホームページから印刷できます(※2)。
提出はFAXで構いません。

- ※1 市内学校の授業の一環であれば入館料は免除となります。
ただし、施設により減免対象が異なりますので、事前に訪問予定先にご確認をお願いいたします。
- ※2 「盛岡市文化振興事業団」ホームページを開き、「管理施設一覧」から各館のトップページに移行できます。「各種ダウンロード」から様式を印刷してお使いください。

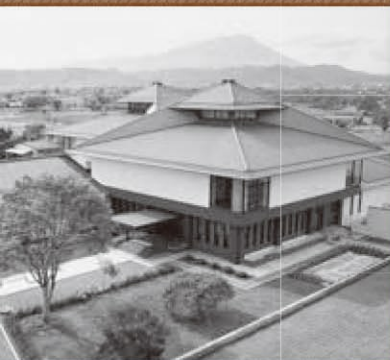
博物館

授業で使える

先生方のための活用ガイド

盛岡市内小中学校用

盛岡市先人記念館



原敬記念館



石川啄木記念館



盛岡てがみ館



出前講座(無料)も実施しています!

担当者が学校に出向いて講座を行います。来館が難しい場合や見学の事前学習におすすめです。
各館により申し込み締め切りや内容が異なりますので、まずは電話でお問い合わせください。

※館によっては、申し込み状況や業務状況によりご希望の日程・内容に沿えない場合があります。必ず事前に電話にてご相談ください。

このチラシは公益財団法人盛岡市文化振興事業団 (URL: <https://www.mfca.jp>)
盛岡市先人記念館・原敬記念館・石川啄木記念館・盛岡てがみ館の4館で作成しています。

もり おか し せん じん き ねん かん 盛岡市先人記念館

こんな見学方法はいかがですか？

新渡戸稲造・米内光政・金田一京助の各記念室を中心に郷土の豊かな精神文化の礎を築いた130人の先人について、それぞれ偉大な人間形成の過程が学べます。



①概要説明

見学の冒頭に、施設や展示室のみどころについて説明します。
※定員あり



②講話

先人についてパワーポイントを用いてわかりやすく解説します。
※定員あり

そのほかにも

楽しみながら学べる工夫がもりたくさんです

●先人クイズラリー：先人のクイズに挑戦！館内をめぐり、展示をヒントに問題を解きます。合格者には、先人似顔絵つき合格証を発行します。

●巨大すごろく：低学年におすすめ。新渡戸稲造・米内光政・金田一京助の生涯を学ぶことができます。学校への貸出もおこなっています。



『武士道』の初版本など、先人記念館でしか見ることができない実物資料が豊富です。

見学申し込み締め切りは来館希望日の2週間前まで

見学の事前学習に利用いただける出前講座も行っています。
実施希望日の1ヵ月前までに、電話にてご相談ください。

休館日は毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）と毎月最終火曜日
〒020-0866 盛岡市本宮字蛇屋敷2-2
Tel.019-659-3338 Fax.019-659-3387

はら けい き ねん かん 原敬記念館

『宝積（人に尽くして見返りを求めない）』
原が目指したその精神や生き方を学べます。

現在の盛岡市に生まれ、第19代内閣総理大臣を務めた原敬（はらたかし）の業績を紹介する博物館です。19歳から65歳まで書き続けた「原敬日記（はらけいにつき）」（岩手県指定有形文化財）をはじめ、暗殺された時に着ていた衣服、直筆の書や手紙など、貴重な資料を収蔵・展示しています。



施設見学 小中学生向けの解説が充実しています

- 原敬の生涯を分かりやすくまとめた展示パネルや解説シートがあります。
- クイズをとって楽しみながら学ぶことができます。
- 館長や学芸員が展示資料を分かりやすく解説します。
- 盛岡市指定有形文化財である原敬生家（1850年に建てられた武家屋敷）の内部も解説付きで見学することができます。
- 庭園の写生など、芸術活動にも利用できます。

出前授業 ご希望に沿った内容をお話しすることができます

- 例えば 4年生「原敬の少年時代」…少年時代の生活や逸話などについて
 - 5年生「原敬の業績」…新聞記者や外交官、政治家としての業績について
 - 6年生「原敬の生涯」…数々の困難をどのように乗り越えて生き抜いたかについて
- ※このように3ヶ年計画で段階的に学習を進めることも可能です。

- 紙芝居の画像やパワーポイントを使って解説することもできます。

原 敬（はら たかし）のプロフィール

安政3年（1856）、本宮村生まれ（今の盛岡市本宮）。15歳で上京、司法省法学校（今の東京大学法学部）、新聞記者、外務官僚などを経て政治家となり、大正7年（1918）に内閣総理大臣となる。日本初の本格的な政党内閣を組織し、政党政治を推し進めたが、大正10年（1921）に東京駅で暗殺された。ニックネームは「ハラケイ」、「平民宰相」。座右の銘は「宝積」。趣味は俳句、好きなものは蕎麦。

私が
解説パネルで
ナビゲートします



ハラくん

休館日は毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
〒020-0866 盛岡市本宮4丁目38-25
Tel.019-636-1192 Fax.019-636-1185

いし かわ たく ぼく き ねん かん 石川啄木記念館

岩手を代表する歌人、石川啄木。

当館では、盛岡の先人学習として啄木について楽しく学べます。また、記念館まで行く時間がないという学校には出張して講座も行います。



◀紙芝居で啄木の人生を紹介

啄木にふれる初めの一步として、啄木の人生や短歌を紹介します。クイズを交えた楽しい紙芝居には子供たちも大興奮！館内だけでなく、ご希望の学校でも上演します。そのほか「啄木かるた」の講座も人気です。



◀啄木ゆかりの建物を見学

啄木が学び教えた旧洪民尋常小学校、家族で暮らした茅葺屋根の住宅を見学できます。学校内には、当時の雰囲気伝える教室や職員室があり必見です。



◀展示室を解説します

石川啄木が実際に弾いたオルガンや遺品、手紙などの資料を見ながら、職員が解説します。自由見学の質問にも丁寧に対応します。

休館日は毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
〒028-4132 盛岡市洪民字洪民9
Tel.019-683-2315 Fax.019-683-3119

もり おか かん 盛岡てがみ館

盛岡てがみ館は、盛岡にゆかりのある先人の手紙や原稿などを収蔵し、展示している全国でもめずらしい施設です。周辺には岩手銀行赤レンガ館、中津川をはさんで対岸には「盛岡城跡公園」や「もりおか歴史文化館」があります。春は「サクラ」、秋は「紅葉」と「鮭の遡上」が楽しめます。

常設展示資料

「石川啄木」・「金田一京助」
らの手紙が展示してあります。

『一握の砂』で有名な天才歌人石川啄木は、青春時代をここ盛岡で過ごしました。啄木の手紙をとって、彼の生き方にふれてみましょう。



ふるさとを愛した歌人「石川啄木の手紙」

アイヌ語の研究に生涯を捧げ、文化勲章を受章した金田一京助は、石川啄木の親友として物心両面から彼の活動を支えたことでも知られています。東京の下宿で、二人は毎日のように一緒に食事をとり、語り合い、同じ時を過ごすのでした。京助の手紙をとって、彼の業績や人柄にふれてみましょう。



啄木を支え続けた友人
「金田一京助の手紙」

総合的な学習の時間や社会科見学の一環として、手紙をとって、先人の生き方を学ぶことができます。学校のご要望に合わせて対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

休館日は毎月第2火曜日（ただし、9月の休館日は第1火曜日）
〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおどって6階
Tel&Fax.019-604-3302